

第 31 号

あ〜す・れっく

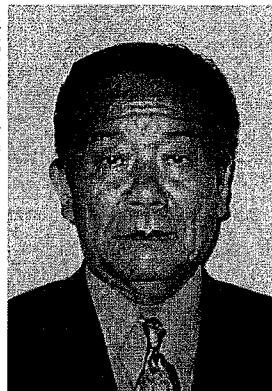
＝ 日 資 連 界 報 ＝

日本再生資源事業協同組合連合会
〒101-0061 千代田区五番町 12-6
TEL 03 (3263) 9101
発行人 倉林 喜一郎
編集人 星 本 昭 次
印刷 株式会社資源新報社

年頭所感

関係各方面との連携強め

日本再生資源事業協同組合連合会 会長 倉林 喜一郎



平成十六年の新春を迎えるに当たり御祝辞を申し上げます。

平素は、日資連の会員の皆様はじめ関連行政、関連業界の皆様には、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

状況となりました。再生資源については、鉄スクラップ、非鉄金属等属関係は、海外市場の急騰に支えられて価格上昇が見られましたが、古紙に関しては、新聞古紙など値下がり局面が続く、弱気ムードの中での越年という残念な状況となっております。

しかしながら、中国をはじめアジア市場での再生資源の需要は、これからも伸びていくものと見られており、本年に関し

自動車リサイクルの本格施行を控えるなど、循環型社会形成に向けてリサイクル・環境関連法体系が整備されてきております。

このような環境の大きな変化の中で我々再生資源業界の使命と役割は今まで以上に重要なものとなっており、再生資源の実践業界としてのノウハウを活かすとともにリサイクル事業を社会的に積極的にアピールしていくことも課題となります。

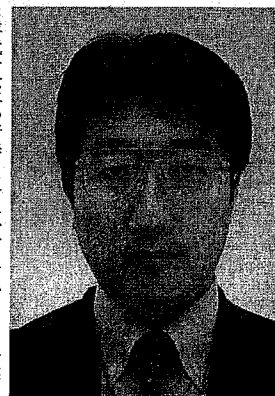
本年も引き続き、会員の皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

近年の企業をはじめ市民行政における環境問題の意識の高まりは著しいものがあり、環境問

年頭所感

「環境立国」実現へ

経済産業省産業技術環境局 環境調和産業推進室長 國友 宏俊



平成十六年の新春を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。

近年の企業をはじめ市民行政における環境問題の意識の高まりは著しいものがあり、環境問

中に新たに地域循環ビジネス専門家委員会を設置し、国によるエコタウン事業などへの支援策のあり方を検討しています。

本年一月には報告書を取りまとめ、平成十六年度から制度の見直しを行う予定です。地域の有する多様な資源(産業、技術、人材等)を有効に活用して、経済性、安定性がある持続可能な循環ビジネスへの支援を地方自治体と協力して実施していくこととしております。

年頭所感

循環型社会構築に努力

衆議院議員 日資連顧問 大島 章宏



国民が、現在の小泉自民党政権による政治を国民のための政治に改革するため、政権交代を求め始めた意志の現れであると

本年夏の参議院議員選挙および次期総選挙において、「政権交代」を実現するよう全力で行動します。

さて、今の日本の現状は、相変わらずの高失業率や犯罪増加などの社会不安が増し、国民が将来に対する不安感を強めています。また、お互いに相手を思いやる心や、物

を大切にする心など、昔の日本ではあたりまえの事が難しくなってきたという。資源リサイクルに関しては、皆さんのご努力で、国民の意識は向上して来ていますが、まだまだ不十分です。静脈産業に携わる皆さんの「知恵」と「経験」を最大限生かし、日本人が「資源」を大切にすることを取り戻すよう、今後とも皆さんと共に努力し、資源循環型社会を構築するよう全力で取り組んで参ります。

最後に、本年一年の皆様の御多幸と御健康を記念いたし、新年の御挨拶といたします。

平成十六年元旦



武蔵一宮(府中市)の大神神社
JR府中本町下車徒歩5分

「変化」に迅速に対応し

日資連西日本支部長 平林 久一



新年明けましておめでとうございます。平成十六年の新春を迎え、会員の皆様により

に二十世紀には考えられないような変化が訪れています。その変化を要約しますと「中国特需」という言葉になります。自動車産業をはじめ、今あらゆる分野において中国経済は目覚しく成長しています。全世界の経済が中国経済の成長により、牽引されているほどで、日本の企業もこの流れで立ち直った企業がいくつもありま

す。われわれの業界も又中国への輸出により多大の恩恵を受けております。しかし、ここで注意しなければならぬのは、「特需」はあくまでも「特別な」需要というものです。普通ではありま

本のパブル崩壊と同じ局面を迎えるでしょう。いつかその時は、やってきます。ですから、足元のリスクを大事にしましょう。これまで長年やってきた仕事です。「本業」です。着実にひとつひとつをこなしていきたいと思います。

これからの我々の業界をとりまく環境は変化し続けるでしょう。変化にきちんと対応することは大事です。しかし、我々の仕事の本来「汗を流して鉄や非鉄や紙や瓶や布を集め加工して資源にする」を忘れないようにしましょう。



古紙安定供給に努力

全国製紙原料商工組合連合会 理事長 畑 俊一

%に迫る月も出るようになりまし。需要も堅調に推移しておりますが、特に目覚ましいのが輸出でありまして、昨年より前年と同様に回収量の約一割にあたる二百万トンほどが輸出されたようでありまして、約半量是中国向けであります。中国は内外の資本で急速に生産設備を増強させており古紙の需要も旺盛です。日本の古紙市場の鍵を握る存在となりつつありまして、今年も注目すべき市場となるものと考えております。

一方、当業界ではこういった伸びを受けてヤード新設や他業界からの進出など活性化し、問屋間の仕入過当競争が大きな問題となっておりまして、過当競争は市況の混乱を招き延びては回収業界にも迷惑をかけることになりまして、折角の需要ながら価格面では不安定で予断を許さないのが現実でありますので、今年も秩序ある競争のもと安定した古紙市場の確保にも取組んで参らねばならないと考えております。

組合員各位の益々のご活躍を記念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

「高尚の通り回収の状況も変わってきております。自治体による行政回収が年々広がりつつあり、私共にとってもまたいろいろな課題が出てきております。

組織間の連携強化を

日資連北日本支部長 本間 義和



新年明けましておめでとうございます。昨年は鉄スクラップ、古紙、非鉄といった我々の業界の主力商品が好況のうちに推移し、比較的安定した経営状態で一年を締めくくることができたのではないかと思います。中国を中心とするアジ

ア諸国からの引き合いは相変わらず強く、今年もまた需給バランスのとれた業況になるものと予測されます。しかしながら、諸商品の高騰は必然的に業者間の過当競争をもたらし、結果として利幅がとれないという苦しい経営を強いられるものでもありません。

このような業界内外の状況を踏まえて、東北資源としてなんとか業界のみなさんのお役に立てるような方向を打ち出したいと考えております。

昨年十月にスタートした新執行部ではすでに理事会、研修委員会を開催し、今年度の基本的な事業計画を決定しております。内容は次の通りであります。

(一) 鉄鋼メーカーとの懇談会・鉄リサイクル工業会東北支部との共催で毎年行っているものです。今年も鉄スクラップ高騰の中で、どのような

動きになるのか、Aプレスに関する認識はどのようなものになるのかといった点を話し合いたいと思っております。

(二) 製紙メーカーとの懇談会・古紙再生促進センター・東北地区委員会との共催で例年行っている。今年は特に輸出の動向を踏まえて古紙価格全般の動きと製紙メーカーの考え方について話し合いを行います。

(三) 研修委員会 今年度の諮問テーマを昨年に引き続き「再生資源業、国際化への挑戦」ということで中国以外のマーケットの動向も視野に入れた市場動向を調査し、業界としてどう対応すればよいのかという点に設定しました。

以上が今年度における東北資源の主要事業の概要であります。青年部は独自に開催青年部と合同大会を横浜で開催する。という報告も受けております。

業界内の意思疎通がそのような形で醸成されることは、まことに有意義なことではないかと考えています。この援助を行いたいと考えています。

マンネリ化しているといわれる業界の組織運営ではありますが、「継続は力なり」という言葉を思い出します。諸先輩が営々として築き、継承してきた事柄を正しく後輩に託すことが我々の使命と心得ております。

日資連会員各位、関係各方面の皆様には、今年度もどうかよろしくお

新年明けましておめでとうございます。昨年は鉄スクラップ、古紙、非鉄といった我々の業界の主力商品が好況のうちに推移し、比較的安定した経営状態で一年を締めくくることができたのではないかと思います。中国を中心とするアジ

ア諸国からの引き合いは相変わらず強く、今年もまた需給バランスのとれた業況になるものと予測されます。しかしながら、諸商品の高騰は必然的に業者間の過当競争をもたらし、結果として利幅がとれないという苦しい経営を強いられるものでもありません。

新たな日本システムの構築を

日本鉄リサイクル工業会会長 鈴木 孝雄



新春を迎えるに当たり、全国の関連業界の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年度の我々鉄鋼業を取り巻く環境は、前年度に引き継ぎ、押しな

伸ばすことができました。また、鉄鋼業界だけでなく、わが国の経済も全体として底打ちの傾向にあり、GDPも久しぶりで二%台に乗りそうです。年末には、日経株価平均は一万円の大台を維持し、米ダウ平均も一万ドルを維持できたのも久しぶりのことです。

幸いなことに、中国の好調さは当分騒ぎそうだし、米国、ユーロ圏も悪くはないと見えます。日本も輸出依存傾向ではありますが、当面、原状維持

良い環境でした。中国を中心として世界の鉄鋼需要は好調を保ち、数量的にも価格的にも高水準を維持できたことで、鉄鋼メーカー、流通業者、原料業者もそれぞれ収益を

はできそうです。しかし一方では、わが国の構造改善はあまり進みません。前回の選挙結果を見られるように、我々国民の決意もまだ中途半端で、未だ痛みを伴う構造改革に本格的に踏み出せずに居ます。従って、わが国が外部環境に大きく依存する力ごとく、主体的な努力でこの二十一世紀型変革に対応できるかと言ったと相変わらず心もとないものがあります。

さながら、二〇〇四年新年を迎えて、新しい日本システムの構築を目指し、我々もそれぞれ持ち場より未来を指し、頑張らなくてはなりません。

新年明けましておめでとうございます。昨年は鉄スクラップ、古紙、非鉄といった我々の業界の主力商品が好況のうちに推移し、比較的安定した経営状態で一年を締めくくることができたのではないかと思います。中国を中心とするアジ

古紙ネットが資源業界に期待すること

古紙問題市民行動ネットワーク代表 中村 正子



古紙が底値を更新し続けてきた二〇〇一年から二〇〇二年にかけては、古紙ネットは地球環境基金やイオン環境財団の助成金を受けて、ビデオ「まわれ!古紙リサイクル」をつくりました。皆さんの応援もいただき、なんと赤字を出さずにすんだのですが、今でも時おりビデオの注文があります。

二〇〇三年五月には、古紙リサイクルについて現状や問題点を含め広く知ってもらおうと、これまでの古紙ネット活動の集大成でもある冊子「紙と古紙」を刊行しました。イオン環境財団に引き続き助成金をいただいたので、誰もが入手しやすい頒布価格に、一冊百円にしました。後で、「二倍の値段ではなかったのに」との反省も出ましたが、この安さが活用しやすいものになった気がします。

せっかく買いやすい値段で手軽に良い内容の冊子をつくったのだから、新聞の朝刊家庭欄に掲載してもらおうと個別の記者に粘り強く働きかけました。

結果的には、二〇〇三年七月十八日に読売新聞家庭欄に掲載され、二〇〇三年九月十五日に毎日

子をつくったのだから、新聞の朝刊家庭欄に掲載してもらおうと個別の記者に粘り強く働きかけました。

結果的には、二〇〇三年七月十八日に読売新聞家庭欄に掲載され、二〇〇三年九月十五日に毎日

さる研究発表会「豊かな人間性を育む環境教育」に全国から参加すると聞く五百人の教師に訴えるチラシを配布する予定です。

昨年六月十四日に開催した討論会「古紙の現状をどう見るか?」では、データも含めた順調に増えている古紙輸出の現状、その輸出を支える世界一と言われている日本の良質な古紙を生み出した集団回収への高い評価、一方で、地域の崩壊に連動して従来集団回収も壊れてきているなどの指摘が出ました。

討論会でも参加してもらった市民にも話したい、昨年十一月八日に中山弘子新宿区長を迎えて古紙ネット恒例のシンポジウムに期待しています。

「どうつく?」持続的な古紙リサイクルシステム」を行いました。自治体の古紙回収と民間リサイクルシステムはいかにあるべきなのか。どうあり得るのか。「新たな集団回収」はいかにあり得るのかなどの話が展開されましたが、一つ一つの課題を深める時間はありませんでした。

二〇一〇年の上海万博までは中国の好況は続き、古紙輸出も大丈夫と聞きまします。底値でギリギリまで追い詰められた時には対策を考へる余地はないかと思いますが、底値を脱した今こそ、長期的な民間システムのあり方を地域の市町村に出せるような、そうした具体的な対策づくりを業界の皆さんに期待しています。

新年あけましておめでとございます。組合員の皆様には健康に新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、ご高承の通り、会長の諮問機関として昨年二月に発足しましたシステムプランニング委員会(以下、SP委)は同年十二月二十日、その役割を終了解散し(最終報告

は、委員各位の勇断をいただき、P-JNの業務を最優先することになりました。この決定方針をもち、P-JNを立ち上げることが理事会で決定されました。既にSP委の「中間のまとめ」の概要は「報告済み」ですが、最終報告ならびにP-JNの概要についてご報告したいと思ひます。

SP委最終報告の要諦は、組織強化のための三項目、①意思決定の迅速化②原局認可の取得③財政の健全化の実現に向け、その処方箋「何時」「何処」「誰が」「何を」の具体策提示と既存の委員会との関係の整理にあります。後者について

チーム(別掲P-JN組織図参照)に配されることになりました。組織の柔軟性を維持するため、縦割りせず、メンバーが重複する形態とし、チームはプロセスの判断を重視することで、職責と情報共有がしやすくなり、状況に応じたメンバー替えがしやすくなるよう配慮しました。今後はP-JNの中身を如何に充実させるかが最も重要な課題となりますが、そのためには、日資連加盟組合の皆様の忌憚のない意見と全面的なご支援がなくてはなりません。最後に、本年も旧倍のご支援を重ねてお願いし、ご報告とさせていただきます。(新井英二)

原局認可の実現を

年頭所感 プロジェクトNリーダー 日資連副会長 紺野 武郎



二〇〇三年五月には、古紙リサイクルについて現状や問題点を含め広く知ってもらおうと、これまでの古紙ネット活動の集大成でもある冊子「紙と古紙」を刊行しました。イオン環境財団に引き続き助成金をいただいたので、誰もが入手しやすい頒布価格に、一冊百円にしました。後で、「二倍の値段ではなかったのに」との反省も出ましたが、この安さが活用しやすいものになった気がします。

せっかく買いやすい値段で手軽に良い内容の冊子をつくったのだから、新聞の朝刊家庭欄に掲載してもらおうと個別の記者に粘り強く働きかけました。

結果的には、二〇〇三年七月十八日に読売新聞家庭欄に掲載され、二〇〇三年九月十五日に毎日

高くて市民の貴重な協力(努力)も加味すれば大変な出血輸出になっております。再生資源の内外の価格は正に更なる業界努力をしなければ、痛みの発生期を見越して製紙各社が一斉に新聞古紙の下の下げを止めたことには強い憤りを感じます。かつて日資連の公開質問状に対し各社は、国際価格に準拠することが原則と回答してきました。日資連は、各単協で実施している輸出事業を、

今後とも対抗策として拡大する必要があると考えています。

ここ数年間、業界の悩みと取り合っている資源物の抜き取り問題も、行政・集荷・直配と一体となつて、早急に対策を進めなければ市民の協力が得られず、再生資源の内外の価格も正に更なる業界努力をしなければ、痛みの発生期を見越して製紙各社が一斉に新聞古紙の下の下げを止めたことには強い憤りを感じます。かつて日資連の公開質問状に対し各社は、国際価格に準拠することが原則と回答してきました。日資連は、各単協で実施している輸出事業を、

た。若手有志の皆様が、システムプランニング委員会に献身的に準備作業を重ねて頂いた結果、改革の道筋が出来上がりました。全国の会員の皆様に加えて新規加入組合を拡大して、日資連を資源回収業界の真の代表として組織改革し、国や関係機関の認可団体としての実現に九十九パーセントまで近づけたことは、各組合に大変な意義があると思います。同時に引き続き、関係業界や市民の皆様と密接に協力して、民間リサイクルシステムの再建に勇気ある提言と実行をしていく必要があります。

何卒本年も、連合会活動に倍倍のご支援とご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが、皆々

様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。

報告 先進システムも課題多く 長野・茅野両市を現地取材

広報委員会は十一月十一日の両日、長野県外業者との意志疎通が不十分であったと、茅野市に現地取材を行った。両施設訪問に際しては事前に地元資源業者との会談も行った。目的は両市が大王製紙と行政回収古紙の直接販売を行っていることと現状を知ること。

結果は両市ともかなり以前より古紙は三品目とも行政回収を行っており、新聞古紙のみの回収はなかった。また、回収業者も地元資源業者が委託されていたが、その業者

は、委員各位の勇断をいただき、P-JNの業務を最優先することになりました。この決定方針をもち、P-JNを立ち上げることが理事会で決定されました。既にSP委の「中間のまとめ」の概要は「報告済み」ですが、最終報告ならびにP-JNの概要についてご報告したいと思ひます。

SP委最終報告の要諦は、組織強化のための三項目、①意思決定の迅速化②原局認可の取得③財政の健全化の実現に向け、その処方箋「何時」「何処」「誰が」「何を」の具体策提示と既存の委員会との関係の整理にあります。後者について

チーム(別掲P-JN組織図参照)に配されることになりました。組織の柔軟性を維持するため、縦割りせず、メンバーが重複する形態とし、チームはプロセスの判断を重視することで、職責と情報共有がしやすくなり、状況に応じたメンバー替えがしやすくなるよう配慮しました。今後はP-JNの中身を如何に充実させるかが最も重要な課題となりますが、そのためには、日資連加盟組合の皆様の忌憚のない意見と全面的なご支援がなくてはなりません。最後に、本年も旧倍のご支援を重ねてお願いし、ご報告とさせていただきます。(新井英二)

チーム(別掲P-JN組織図参照)に配されることになりました。組織の柔軟性を維持するため、縦割りせず、メンバーが重複する形態とし、チームはプロセスの判断を重視することで、職責と情報共有がしやすくなり、状況に応じたメンバー替えがしやすくなるよう配慮しました。今後はP-JNの中身を如何に充実させるかが最も重要な課題となりますが、そのためには、日資連加盟組合の皆様の忌憚のない意見と全面的なご支援がなくてはなりません。最後に、本年も旧倍のご支援を重ねてお願いし、ご報告とさせていただきます。(新井英二)



組織の活性化めざし SP委を発展解消プロジェクトN立上げ

SP委を発展解消プロジェクトN立上げ

書は近日各組合宛送付予定です。その報告を具体的に推し進めるため、新たにプロジェクトN(以下、P-JN)を立ち上げることが理事会で決定されました。既にSP委の「中間のまとめ」の概要は「報告済み」ですが、最終報告ならびにP-JNの概要についてご報告したいと思ひます。

SP委最終報告の要諦は、組織強化のための三項目、①意思決定の迅速化②原局認可の取得③財政の健全化の実現に向け、その処方箋「何時」「何処」「誰が」「何を」の具体策提示と既存の委員会との関係の整理にあります。後者について

プロジェクトN		役割	担当
チームK	素案作成	経産省	
チームA (リーダー・実務リーダー)	素案の本案化	日資連・経産省	
チームC (副リーダー)	決定機関	日資連	

* () 内は所属のみを表す。

感所頭 方向性見出す一年に

日資連青年部長 松本貞行

明けましておめでとう
ございます。

昨年は順調な古紙輸出
により古紙価格が安定
一部では高値感が出たた
め、行政回収などからの
抜き取り行為が横行、マ
スコミでも取り上げられ
資源業界のモラルを問わ
れた一年でした。

そんな中、資源の全国
組織である日資連が、こ
の業界の社会的地位を向
上すべくプロジェクト
Nをスタートさせました。

青年部としてもこのプ
ロジェクトNに全面的
に参加、協力し資源業界
の将来、そして自分達の
進むべき方向性を見出す
一年にしたいと思えます。

東資連活動報告

▽活動報告

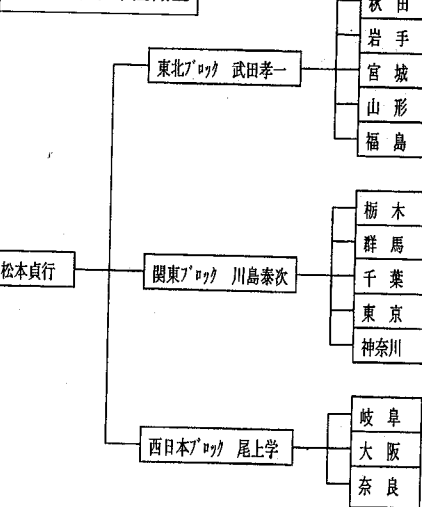
東北(6県)再生資源組合連合会(東資連)青年部
山形会館開催
平成十五年八月十五日(日)
山形市 ホテル山形イン
講演「ガス化廃棄物の有効性と資源化の有用
性」について 講師 北沢政氏
その他 出羽格闘道(株) 仙野さんの講演
アトラクションなど 参加者の熱意が深まった。

▽活動予定

関東連・東資連青年部合同大会への積極参加等
です。(平成十六年八月十三日(金)〜十四日(土))

青年部

日資連青年部組織図



関東連青年部活動報告
関東連青年部では当ブロック
より松本日資連青年部長が選出
されていることもあり日資連青
年部活動に対する協力体制を強
化してきました。同時に関東連
青年部の活動として日資連青
年部と共に月一の部長会開催、青
年部未加入地区の若手との交流
会を開催するなど新しい取り組み
を積極的に進めてきました。
今後とも引き続き組織の強化と協
力を基本方針として活動してい
くと共に次世代を担う若手の育
成に青年部を上げて取り組んで
いきます。

【編集後記】
新春を迎える会員の皆様には「健勝のこ
と」お喜び申し上げます。
昨年度私達の業界では、故紙、非鉄
鉄屑価格がバブル崩壊後初めての水準に
まで回復し、一息つけた明るい年であっ
たと思っています。
反面、私の県では昨年末より報道され
ている地方銀行の破綻が過去に無い結末
となり、債権者のみならず優先株を持た
れた企業、投資家、行政に重くのしか
かる事となっています。バブルの後遺症
から逃れられないまま平成十五年度未
ひかえ、県内の貸出高30%もの銀行破
綻は、私達にもつて行き場の無い大きな
不安と影を落としています。
さてあす・れっくでは新たな委員会
やプロジェクトなどの動きも掲載、より
良い紙面作りを目指します。会員各位に
も情報の提供等切にお願いいたします。
星本

神奈川県資源回収商業協同組合

理事長 萩原 右一

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-17

モンテパルデ横浜 311号室

TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

奈良県資源回収事業協同組合

理事長 吉岡 勝重

〒635-0021 奈良県大和高田市池尻 82-1

TEL 0745(52)5824・FAX 0745(53)3533

栃木県リサイクル協同組合連合会

会長 阿久津 守光

〒322-0035 栃木県鹿沼市朝日町 1952-2

TEL 0289(62)2239・FAX 0289(62)2246

東京都資源回収事業協同組合

理事長 紺野 武郎

〒220-0023 東京都千代田区三崎町 2-21-1

TEL 03(3263)36760・FAX 03(3263)3679

大阪府再生資源事業協同組合

理事長 久延 金男

〒567-0865 大阪府茨木市横江 2-9-45

TEL 0726(30)6730・FAX 0726(30)6731

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会

会長 大塚 勝彦

〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6

富士ビル 5階A号室

TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

岡山再生資源事業協同組合

理事長 佐藤 章夫

〒700-0026 岡山県岡山市豊成 3-14-20

TEL 086(902)0011・FAX 086(902)0140

埼玉県再生資源事業協同組合

理事長 細田 益弘

〒338-0826 埼玉県さいたま市桜区大久保領家 343-7

TEL 048(852)9048・FAX 048(852)9075

広告求む